

科目コード	E2122	科目名	社会的養護				
履修区分	選択	開講期	2年前期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	吉原直樹						
授業の概要	社会的養護の意義について子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本を理解し、その制度や実施体系等について学び、社会的養護とそこでの福祉専門職としての理解と、実践できる力を身につけることを目標とする。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 現代社会における社会的養護の意義と歴史の変遷について説明できる。</li> <li>2 子どもの人権擁護を踏まえた社会的養護の基本について説明できる。</li> <li>3 社会的養護の制度や実施体系等について説明できる。</li> <li>4 社会的養護の対象や形態、関係する専門職等について説明できる。</li> <li>5 社会的養護の現状と課題について説明できる。</li> </ol>						
履修上の注意事項	授業中の私語、携帯電話の使用は禁止します。配布資料は授業でのみ配布します。教科書は授業、試験ともに使用するので、必ず購入してください。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	社会的養護の理念と概要				・事前学修：社会的養護の理念について調べておく。(30分) ・事後学修：社会的養護を果たす保育士の役割をまとめる。(30分)	
	2	社会的養護の歴史の変遷				・事前学修：社会的養護の歴史上で起きた出来事一つ調べておく。(30分) ・事後学修：社会的養護の歴史についてまとめる。(30分)	
	3	社会的養護の歴史の変遷				・事前学修：社会的養護の概要について調べておく。(30分) ・事後学修：歴史的背景があたえている影響を考える。(30分)	
	4	子どもの人権擁護と社会的養護				・事前学修：子どもの有する権利についてまとめておく。(30分) ・事後学修：社会的養護における子どもの権利の位置づけを説明できるようにする。(30分)	
	5	社会的養護の基本原則				・事前学修：社会的養護の基本原則をまとめておく。(30分) ・事後学修：養護系施設での業務内容をまとめる。(30分)	
	6	社会的養護における保育士等の倫理と責務				・事前学修：保育士倫理綱領を読んでおく。(30分) ・事後学修：子どもの最善の利益をふまえた支援の具体例を考える。(30分)	
	7	社会的養護の制度と法体系				・事前学修：社会的養護に関する法制度一つ調べておく。(30分) ・事後学修：社会的養護を実施するための法体系と具体的な制度をまとめる。(30分)	
	8	社会的養護の仕組みと実施体系				・事前学修：社会的養護に関わる施設を調べておく。(30分) ・事後学修：社会的養護の実際の仕組みを説明できるようにする。(30分)	
	9	社会的養護の対象				・事前学修：社会的養護の対象を調べておく。(30分) ・事後学修：社会的養護の対象をまとめる。(30分)	
	10	家庭養護と施設養護				・事前学修：家庭養護と施設養護の特徴について調べておく。(30分) ・事後学修：家庭養護と施設養護のメリット、デメリットを説明できるようにする。(30分)	
	11	社会的養護に関わる専門職				・事前学修：保育士以外の社会的養護に関わる専門職一つ調べておく。(30分) ・事後学修：社会的養護に関わる専門職の特徴と業務内容をまとめる。(30分)	
	12	社会的養護に関する社会的状況				・事前学修：社会的養護に今後求められる課題一つ調べておく。(30分) ・事後学修：社会的養護に今後抱える課題を整理する。(30分)	
	13	施設の運営管理				・事前学修：社会的養護の施設に従事する職員が抱える問題をまとめておく。(30分) ・事後学修：職員の実態を理解し、自身が置かれた場合の対処方法を考える。(30分)	
	14	被措置児童等の虐待防止				・事前学修：施設での児童虐待事例一つ調べておく。(30分) ・事後学修：被措置児童等虐待の防止方法を考える。(30分)	
	15	社会的養護と地域福祉				・事前学修：子どもが地域の一員として育つための必要条件を考えておく。(30分) ・事後学修：他の機関・団体との連携を図るための方法を考える。(30分)	
成績評価方法	期末試験80%、課題レポート20%を合算して6割以上を満たした場合に単位認定の対象とする。ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	子どもと社会の未来を拓く「新・社会的養護の原理」・櫻井奈津子（青鞥社）					902636-19-2	
参考書	保育福祉小六法（みらい）						
教員からのメッセージ	双方向授業を心がけるので積極的に授業に参加してください。また、社会的養護の現状や課題について、日々のニュース等からも情報をキャッチし、福祉問題について考え理解を深めましょう。						
教員との連絡方法	質問等につきましては、メールで時間等について予め連絡・確認して下さい。						
実務経験のある教員	社会福祉施設（高齢者施設等）での実務						